

CCRD

NEWS

Vol.6

October 2013

- トピックス ●ご挨拶
- 産学官連携・知的財産本部
- 新任スタッフの挨拶
- 地域共生研究開発センター・スタッフ
- 公募情報・イベント情報

<トピックス>

地域共生研究開発センターのメンバーが大幅に変更になりました。本号は、新メンバーの紹介特集です。

ご挨拶



宇都宮大学
地域共生研究開発センター長
すずき のぼる
鈴木 昇

常日頃から宇都宮大学地域共生研究開発センターの諸活動に御支援・御協力を賜り厚く御礼申し上げます。本センターは、研究成果を広く学外に発信するとともに、産学官連携を推進し、地域社会の活性化に貢献することを目的としています。当センターには、地域との連携を推進するコーディネーション・リエゾン部門、学内インキュベーション的機能を有する大学院 VBL 部門、機器分析で貢献する先端計測分析部門（学外にも機器を開放しています）および客員部門があり、知的財産センターと完全連携しつつ、鋭意活動しています。技術相談、共同研究、知的財産権、依頼分析など、お気軽に御相談下さい。

大学の地域貢献度ランキング（日経グローバル調査）で、宇都宮大学は2006年に1位となり、その後もランキングから洩れず、2011および2012年と2年連続2位となっています。これはひとえに皆様方の御支援の賜物であり、心より御礼申し上げます。

今年度はセンタースタッフが大きく入れ替わりました。山村教授（知財センター、定年）と荘司准教授（東北大に栄転）に入れ替わり、リエゾン部門に網屋教授が、知財センターに野本准教授が赴任しました。また、部門長の交代、コーディネータの方々の退職と新コーディネータの着任、職員の交代など、スタッフが大きく入れ替わりましたが、生まれ変わった気持ちで、一枚岩となって産学官連携をさらに促進するために邁進したいと考えています。今後とも御支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

産学官連携・知的財産本部

1989. 5
地域共同研究センター



1998. 4
機器分析センター



1998. 10
VBL



2004. 4
知的財産室



2005. 4
地共センター

完全一体運営

- 大学院VBL部門
- 先端計測分析部門(2010.4)
- コーディネーション・リエゾン部門
- 客員部門 (センター窓口)

2006. 4
産学官連携・知的財産本部

研究協力・産学連携課

2006. 4
知財センター

- 評価・活用部門
 - ・出願、権利化
 - ・発明価値評価
 - ・活用(TLO的機能)
 - ・契約、交渉
 - ・教育、啓発
- 契約・管理部門

<新任スタッフのあいさつ>



宇都宮大学
教授
地域共生研究開発センター
コーディネーション・リエゾン部門長
あみや たかゆき
網屋 毅之

4月に地域共生研究開発センターのコーディネータ・リエゾン部門に着任いたしました網屋です。これまで民間で、素材開発研究を中心に行ってきた後、知的財産の権利化、活用等、知財管理全般を13年間経験して参りました。

地共センターでは技術相談、共同研究から、知的財産関連など、産学連携に関わる様々な相談や戦略策定、推進を能動的に行っていくつもりです。

地共センターと知財センターとの一体運営を名実共に遂行し、前任の山村先生、荘司先生が推進された、ワンストップソリューションを一層推し進め、更には、他機関との連携を強化し、民間企業のニーズに大学の先端技術が的確に応え、新事業創出に有効な仕組み作りを構築したいと考えます。ご協力、ご支援をお願いいたします。



宇都宮大学
准教授
知的財産センター
専任教員
のもと よしひろ
野本 義弘

本年4月に知財センターに着任致しました野本です。前職では、民間企業において、産学連携や総務省出向などを経験した他、新規事業立ち上げ、海外企業との共同開発などにも参画してきました。これらの経験を新しい業務に活かすことができればと考えています。現在は、光融合技術イノベーションセンター、首都圏北部4大学連合、大学知財財活用プラットフォーム、さらには知財インターンシップなどの事業を担当しております。また、外部からの技術相談、共同研究、助成金申請など様々なお手伝いもお受け致します。本学内外と幅広く連携を広げながら、地元への貢献を果たしたいと考えておりますので、今後とも御支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



宇都宮大学
学術研究部研究協力・産学連携課
課長
いちかわ まさかず
市川 雅一

平成24年4月1日に山梨大学から本学に赴任してまいりました研究協力・産学連携課長の市川です。

地域における知の拠点として、地方に所在する国立大学が果たすべき役割はますます重要なものとなっておりますが、本学ではいち早くそうした社会の動きに魁け、「地域に学び、地域に返す、地域と大学の支え合い」を理念に掲げ、「豊かな発想を地域に、新たな知を世界へ」をキャッチフレーズとして、大学を挙げて社会貢献を推進してまいりました。

大学の理念実現に向け、地域共生研究開発センターは、産学連携を通じて、大学の知を活用した地域の課題解決に取り組んでおりますが、研究協力・産学連携課は産学連携を推進する事務部門として、地域共生研究開発センターと一体となり、諸事業に取り組んでまいります。

皆様のご指導、ご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

● 地域共生研究開発センター・スタッフ ●

センター長	鈴木 昇 教授
副センター長	高山 善匡 教授
副センター長	網屋 毅之 教授
大学院VBL部門長	高山 善匡 教授
基礎研究推進室長	入江 晃巨 教授
連携研究推進室長	東海林 健二 教授
イノベーション推進室長	高山 善匡 教授
VBLコーディネーター	倉山 文男
先端計測分析部門長	松本 太輝 准教授
専任准教授	松本 太輝 准教授
技術専門職員	長谷川 和壽
技術専門職員	六本木 誠
コーディネーション・リエゾン部門長	網屋 毅之 教授
共同研究支援室長	網屋 毅之 教授
広報室長	野本 義弘 准教授
「食と農」企業支援プロジェクトコーディネーター	出口 勝彦
宇都宮市産学官連携コーディネーター	伊藤 雅之
ポストキャリア開発事業コーディネーター	桑江 良昇
地域イノベーション連携支援プログラムコーディネーター	塘 久夫
産学官サテライトオフィス	
コーディネーター	坂井 幸雄
コーディネーター	石原 眞興
事務補佐員	君嶋 千恵子
知的財産センター	
センター長	鈴木 昇 教授
専任准教授	野本 義弘 准教授
技術職員	杉山 和寛

● 連絡先 ●

宇都宮大学 地域共生研究開発センター 広報室

〒321-8585 栃木県宇都宮市陽東7丁目1番2号
TEL: 028-689-6316
FAX: 028-689-6320
E-mail: chiiki@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp
URL: http://118.82.78.28/collabo/

企業向け公募情報

○ JST 科学技術振興機構

「産学共同実用化開発事業」

公募期間: H.25.9.30 ~ H.25.12.20 正午 (第3回)

開発費: 総額3億円以上 (上限50億円)

導入試験費: 開発費の10%まで (上限1億円)

申請要件: 開発実施企業と大学等の研究者

開発期間: 原則5年以上10年以下

詳細: <http://www.jst.go.jp/jitsuyoka/index.html>

○ とちぎ光技術研究発表会

開催日: H.25.11.26 (火) 12:45 ~ 18:30

場所: マロニエプラザ小展示場

参加費: 無料 (情報交換会2000円)

募集定員: 60名 ※事前申込制

申込先: 地域共生研究開発センター (4u担当)

○ 第10回学生 & 企業研究発表会

開催日: H.25.12.7 (土) 9:00 ~ 17:00

場所: 宇都宮大学 陽東キャンパス 入場: 無料

イベント情報